

コロナ時代に 行ったこと

佐川 昭

この時期に個人レベルで行ったことは、体重コントロールと自室の断捨離だ。この2つがメイン。どちらも成果が出ている。

体重の方は年明けからで5kg以上は減った。携帯電話で管理できる体重計を正月に購入してから実施。一番気を付けたのは、夕食後の間食を絞ったことだが、面白いように体重は減り続けた。講演会での会食がなくなつたのも大きい。6月末の今でもその傾向は続いている。

それでもまだ標準体重に比べれば18kg(78↓60kg)も多いのだ。せめて70kg位までは持っていきたい、年末までに!

さて自室の整理は、前から気になつていたことだったが、帰宅時間が早くなり道外への出張もなくなり、自宅にいる時間が増えたので始めた。前任の病院へ勤めて以来なので、25年

なる。

片付ける前のわが部屋は、書類の詰まつた段ボールの山だらけで、まるでゴミ屋敷だった。孫が宝探しの探検だ!と言つてその上を渡り歩いてた。そんなことをして足などを痛めたら私の責任になり大変だ。次の休みに孫が来ないうちに、懸命に片付けだした。日に日に通れるところができてきて、自分でも嬉しくなつてきた。

本は、文芸書というよりは趣味のもの(宇宙論や人生論、世の中の生き方など)が多く、装丁もすっかりした立派な本がいくつもいくつもあつた。しかし初めは何も知らず、私にはもう読むひまもないと、ただ捨てていた。このまま誰にも読まれず捨ててしまうのはもつたいたいなと、どれほど思ったことか。図書館で引き取つてくれれば、こ

以上の資料が残つている。それらを仕分けながら取捨選択するのがなかなか難しい。なかなか捨てられない。何段階かでやればいいと決めると少し気が楽に

の本たちもむぎむぎ死ななくてもよいものを。しかし引き取つてはくれまいと勝手に思い、ごみ処理場へ運んでしまった。大量の本が出た第2クールの時、ふと妻が、近くにBOOKY、〇〇が息子子が専門書をいい値段で引き取つてもらつていたと言い出した。それなら私もダメ元でと大量に持ち込んだ。私にとっては不要な本に30000円を超え

悟はしていたがこんなに少ないとは! 驚きと悲しみが同時にきた。4回目の本出しだと、もう古いものばかりだ。引き取つてもくれない。当然の結果だ。むしろ、1回目、2回目が出来過ぎなほどだ。

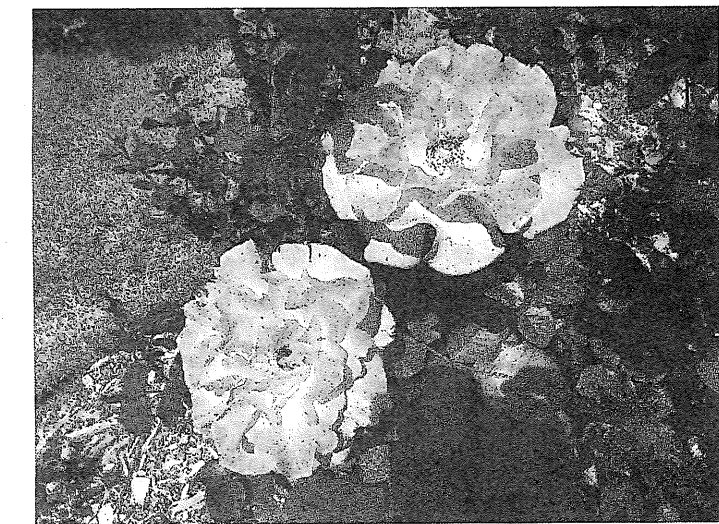
まつたことを後悔している。まずその本たちを生かすことができなかつたことが悔しい。つまり他の誰かにまだ読んでもらえるような新しさがあつた、そして値段もついたはずだと、二重の意味で悔しさが残つた。

来だ! そして金額よりも、捨てられずにその本たちはまた生きるのだと知つて安堵した。やはり嬉しかった。それではもう一度と、少し溜めてから2度目に持ち込んだ。今度

それはしても最初に捨ててしまつたものがとても惜しい。一番初めが一番良い本がそろつていたはずだ。無駄に捨ててし

最初に捨ててしまつたあの素晴らしい本たちよ! 大変申し訳ないことをした。初めからBOOKOFFに持つていって

は50000円を超えた。合わせて1万円近くだ、すごい額になつた。そのまま保管だ。



コロナでは他にもいろいろな経験をした。6月半ば、気晴らしにと出かけた大通公園に咲く薔薇たち(写真)は、いつもにも増して美しく、この世の素晴らしさを語ってくれていた。やはりこれからのwith Coronaの時代、負けてはいられない。この世と別れずに上手に元気に生きていくしかないと思つた。(佐川 昭)ウマチクリニツク